

南面鳥瞰



南立面

○建築概要

- | | |
|-----------|---------|
| ・ 主な構造 | 鉄骨造 |
| ・ 床仕上げ | 木材仕上げ |
| ・ 最高高さ | 19.93m |
| ・ 建築面積 | 927.42㎡ |
| ・ 有効高さ | 約4～6m |
| ・ 延長 | 約350m |
| ・ 通路部分床高さ | 約5～7m |

○施設概要

- | | |
|------------------|----------|
| ・ エレベーター | 20人乗り×2基 |
| ・ 通路、階段 | 幅員約4m |
| ・ 事務所、授乳室 | |
| ・ トイレ（男子、女子、多目的） | |

南西側外観



事務所棟外観



南東側鳥瞰



EV・階段外観



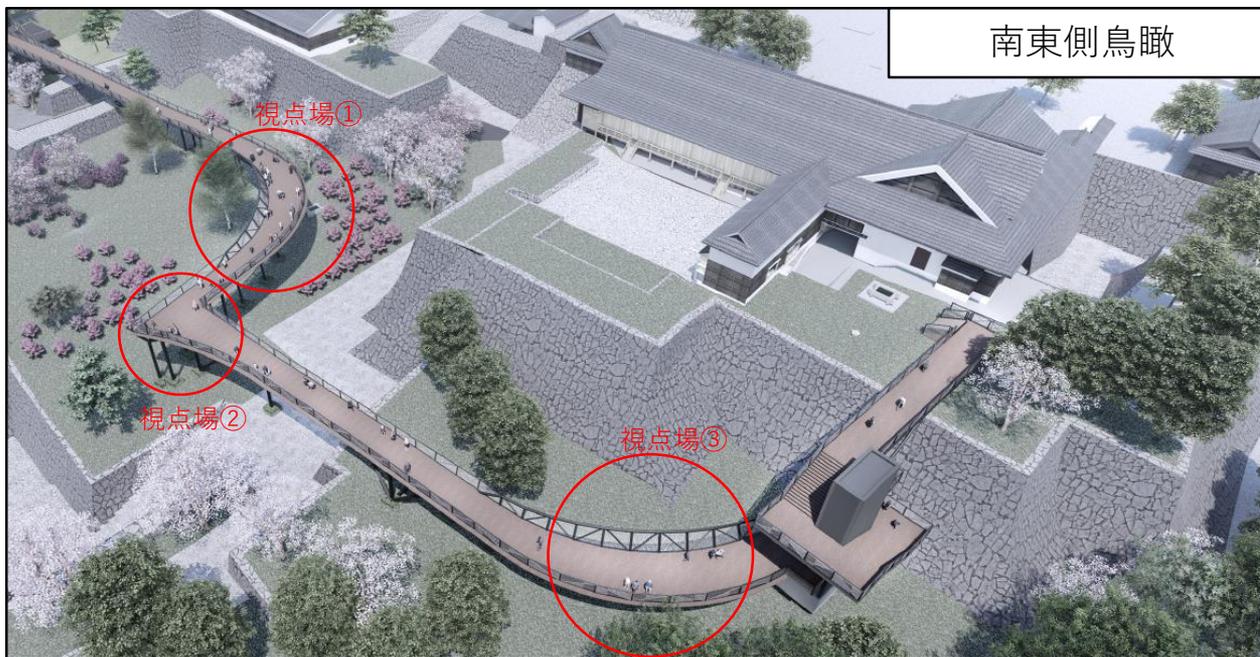
【主な観覧ポイント】

- ・重要文化財建造物、再建・復元建造物、石垣等の被害状況を、被災直後のままでの姿を体感
- ・天守閣復旧整備工事の工事状況を、主要な観覧スポットである二様の石垣とともに眺望
- ・今後の重要文化財建造物、石垣等の復旧工事の進捗状況をリアルタイムで間近に観覧



視点場①イメージ

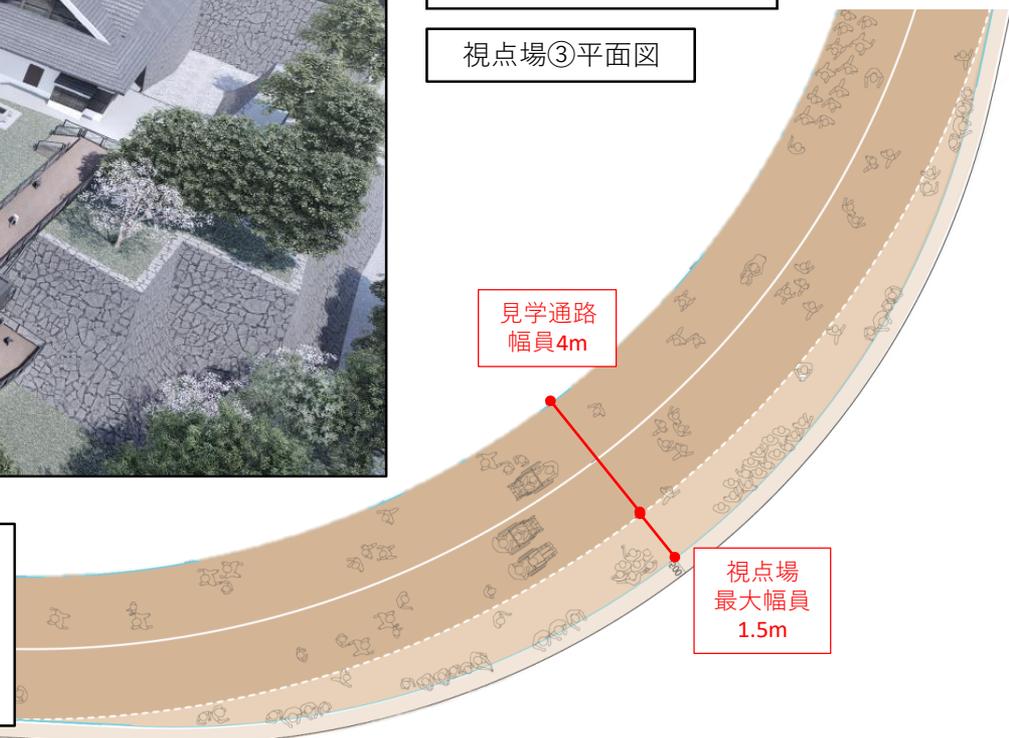
南東側鳥瞰



【凡例】

- 特別見学通路
- 視点場

視点場③平面図

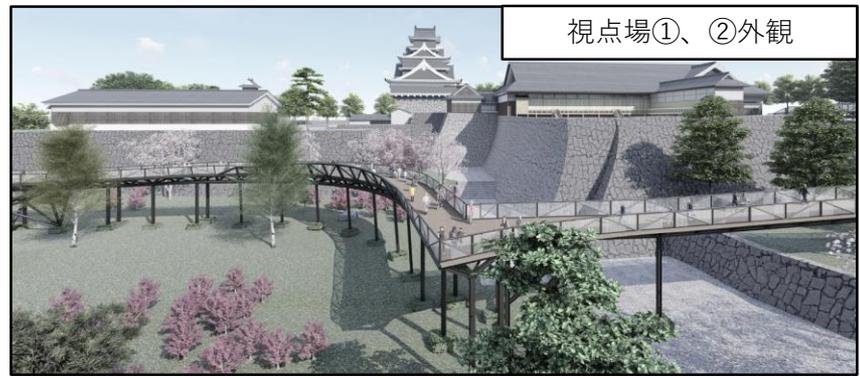


見学通路
幅員4m

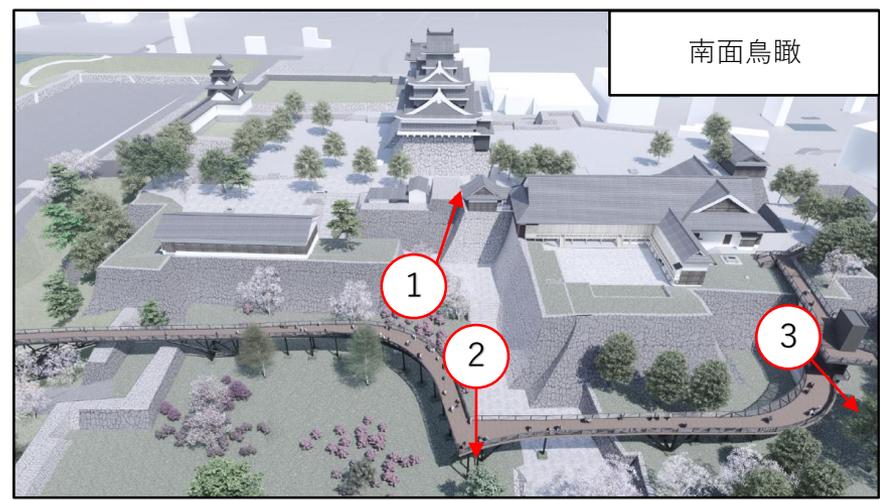
視点場
最大幅員
1.5m

【視点場について】

- ・見学や写真撮影などの視点場を3箇所配置
- ・視点場は歩行者通路からスムーズに出入りしやすく、滞留や混雑を解消できるように配置



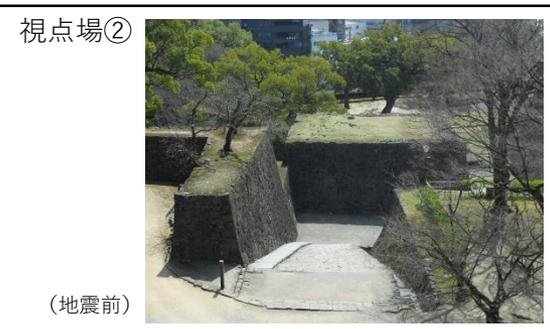
- 被災直後の状態の石垣や櫓を間近で観覧



- 二様の石垣を新たな視点で観覧
- 復旧が進む天守閣を二様の石垣とともに観覧



- 重要文化財建造物群の被害状況及び復旧工事状況を間近で観覧



- 清正の築城技術が生み出した連続外枅形と石垣崩落状況を体感